



20Dレンズセット

【警告】

・レーザー処置時の網膜上のレーザースポットサイズは
400 μ m を超えてはならない。

【禁忌・禁止】

・蒸気滅菌処理・煮沸処理は行わないこと。

【形状・構造及び原理等】

1. 外観図・構成

グリップ部とレンズ部から構成される。

グリップ部:アルミニウム合金鋳物又はアルミニウム合
金ダイカスト

レンズ部:光学ガラス(B K , H I / L D)



2. 品目仕様等

製品名	倍率	レーザー ポット倍 率	静的 視野	動的 視野	作動 距離
20D レン ズ	3.13×	0.32×	46°	60°	50mm
+16 アダプター	3.9×	0.26×	35°	46°	68mm
+24 アダプター	2.64×	0.38×	56°	73°	37mm
+28 アダプター	2.39×	0.42×	60°	78°	31mm
イエローフィル タ	被検者への眩しさを軽減する。				

【使用目的又は効果】

倒像鏡を用いての眼底網膜、眼底周辺部の観察・検査時に使用
する。

アダプターを 20D レンズに取り付けることで倍率が変わる。

【使用方法等】

1. 倒像鏡をセットする。
2. 患者に真っ直ぐ前方をみるよう指示する。
3. レンズの適正な作動距離を知り、光路上の角膜から
作動距離になる位置に挿入する。リングの銀色の縁
を患者側に向けること。
4. 倒像鏡を眼底が観察できるよう調整する。

レーザー処置時、網膜上でのレーザースポットのサ
イズを計算する場合、スポット設定値には各レンズ用
の正しいレーザー倍率ファクターを乗じる必要があ
る。

例えば、レーザースポットサイズを 100 μ に設定し
た場合、20D/50mm 単体では、レーザー倍率ファク
ターが 0.32×、従って網膜上実際のレーザースポットは
32 μ である。又、20D と 16D パワーアダプターを使え
ば、ファクターが 0.26 なので、26 μ のスポットサイ
ズが得られる。以下同様に、各レンズの適正レーザ
ー倍率ファクターを乗じた数値が実際の網膜上のス
ポットサイズとなることを忘れないこと。

【使用上の注意】

1. 使用前の準備

- ①本製品の使用にあたり、倒像鏡が正常に機能する
ことを事前に確認しておくこと。
- ②本製品を使用を開始する前に、本製品の使用法及
び関連諸注意事項、並びに本製品のクリーニング
に関する各事項に精通しておくこと。
- ③クリーニング、場合によって殺菌又は滅菌を行う
際は、レンズ表面の損傷を招くことの無い様、取
り扱いに充分注意すること。特に、他器材と一緒
に滅菌する時は、器材が触れ合い、互いに損傷を
生ずることがないように配慮を欠かさぬこと。
- ④クリーニング、消毒又は滅菌に際しては、樹脂部
分を損傷、劣化させる恐れがあるので、アルコー
ルや、アルコールを含む有機溶剤、アセトン、過
酸化水素溶液を使用しないこと。
- ⑤当該ボルクレンズの表面には、レンズ表面を損傷
する恐れがあるので、クレンザー等の研磨剤、及
び研磨性、侵食性のある溶剤を使用しないこと。
オートクレーブ滅菌は、熱によりレンズの材質を
損なうので、絶対に行わないこと。

2. 使用時の注意事項

- ①本機器の使用にあたり、直前に、接触面、レンズ表面に異物、塵埃、傷等が無いことを再確認すること。万一これらの状況が発見された場合は、速やかに当該レンズの使用を中止して、予備の滅菌済みレンズに代替すること。又傷などの、角膜に損傷を与える恐れのあるレンズは、直ちに廃棄処分すること。
- ②可能な限り、同一目的、同性能の滅菌済みレンズを予備として複数個用意しておくことを推奨する。
- ③診断、処置の途中で本機器を置く時は、レンズ表面を傷つけたり、滅菌状態を劣化させないよう柔らかな毛羽の無い滅菌済みの布や専用の器材トレイの上に置く。

3. 使用後の後始末と保管に関する注意事項

- ②本機器は使用後、必ず、所定の方法で、洗浄し、消毒（殺菌）又は滅菌処理を施しておくこと。又、次回使用までの保管中に、滅菌状態の経時的劣化が予測される場合は、再使用前に再消毒、再滅菌を怠らないこと。
- ②非使用時、機器を保管する場合は、必ず清潔な、柔らかい布上に置くか、専用ケースに入れて保管し、レンズ表面を損傷させることの無いように取扱うこと。

4. その他の注意事項

- ①目的の如何を問わず、本レンズの正規アクセサリとして指定された以外の物を取付けて使用したり、本レンズの改造をしてはならない。又、本レンズを他の装置に組み込み加工したり、レンズを分解して、正規の用途以外に流用してはいけない。
- ②レーザー処置時に、適切なレーザーコートつきボルクレンズを使用する場合、網膜上のレーザースポットの実際のサイズは、レーザースポットサイズ設定の値にレーザー倍率ファクターを乗じた数値になることをわすれないこと。
- ③全てのレーザーレンズでは、共通の一般的警告として、網膜上のレーザースポットサイズは400 μ を超えてはならない。

【保管方法及び有効期間等】

特別な保管方法はなし。

【取扱い上の注意】

レンズが破損するので落下させないこと。

【保守・点検に係る事項】

1. クリーニング

レンズ本体は、適宜、ボルク社の精密光学用レンズ・クリーナーで、埃や油性の汚れを拭き取ること。汚れがひどい場合は食器用洗剤の希釈液など、単純な洗剤を清潔な柔らかい布か綿棒に浸けて使用すること。

レンズ面は両サイド共、徹底的にリンスして、柔らかな、糸くずのない布で乾かすこと。

2. 消毒・滅菌

2. 消毒 レンズ・本体をグルタルアルデヒドの2%溶液に、20～25分浸ける。

3. 滅菌

レンズの滅菌は、65℃を超えないEOGガス滅菌とエアレーションで処理すること。病院のEOG滅菌基準に従うこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

1. 製造販売業者

株式会社 キーラー・アンド・ワイナー

TEL : 03-3815-7787

2. 製造業者

製造会社: Volk Optical Inc.

(ボルク社、アメリカ合衆国)